

第3次朝来市総合計画改訂版の考え方（計画一部抜粋）

第1章 改訂に当たって

1 改訂の趣旨（抜粋）

これらのことから、今回の改訂では、20年後、30年後も、朝来市がもつ豊かな自然環境や歴史文化を継承しながら、人と人とのつながりや幸せを実感でき、本市がこれまで大切にしてきた「参画と協働によるまちづくり」を継承・発展させ、地域の誰もが支え合い、生涯にわたり活躍できる、誰一人取り残されない社会の実現に向けた取組を推進します。さらに、新たな時代を見据え、これまで最も重要課題として取り組んできた人口政策をもう一步前に進めるべく、施策全般について、若者の視点を盛り込み、将来の世代も地域に希望を持ち、朝来市で働き・暮らし・子育てしながら幸せな未来を描ける、持続可能なまちづくりの実現をめざし、第3次総合計画改訂版を策定します。

3 策定の考え方

（6）創生総合戦略との関係性

第3次総合計画改訂版では、第3期朝来市創生総合戦略との一体的な運用を図ります。これにより、政策の整合性や連動性を高め、分野横断的な課題に対して効果的かつ柔軟な対応が可能になります。第2期朝来市創生総合戦略で進めてきた人口減少対策や地域経済の活性化といった視点を、総合計画の中に組み込むことで、両計画が相互に補完し合い、より強固な施策体系を形成します。限られた資源の中でも最大限の効果を上げるため、政策間の「つながり」を重視した体制を構築し事業を推進します。

第2章 基本構想

5 政策指標と人口指標

第3次総合計画では、この計画に基づいて実施されるさまざまな取組が、将来像」や「ありたいまちの姿」の実現を目指して実施され、かつ明確な評価検証が行われるよう、政策指標と人口指標を次のとおり設定します。

（1）政策指標

政策指標として、朝来市民の幸福度（どの程度幸せを感じているか）に加え、朝来市民の幸福度に影響を与える要素を設定します。

朝来市民の幸福度：Asago Well-Being Indicator

指標	目標値(令和11年度)
幸福度(どの程度幸せを感じているか)	令和3(2021)年度対比4%増

朝来市民の幸福度に影響を与える要素

指標		目標値(令和11年度)
市民一人一人の姿	自己実現と成長	やりたいこと(趣味・学び・活動・仕事等)がある
		やりたいことに向けてチャレンジ(準備・実行等)している
		日々の暮らしで生きがいを感じている
	人や社会とのつながり	自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる
		頼れる人(家族・友人・地域の人等)がいる
		自分の居場所や役割がある(家庭・地域・職場等)
まちの姿	ありたいまちの姿1(「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む)満足度	
	ありたいまちの姿2(人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する)満足度	
	ありたいまちの姿3(多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める)満足度	
	ありたいまちの姿4(誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを実感できる)満足度	
	ありたいまちの姿5(市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を維持する)満足度	
	ありたいまちの姿6(まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的に健全な財政運営を実現する)満足度	

(1) 将来像・ありたいまちの姿と政策指標・人口指標の関係性

人と人のつながりである*社会関係資本(ソーシャルキャピタル)は、新たな動きを育み、学びや楽しさ等、市民一人一人の暮らしを豊かにするだけでなく、地域での暮らしの安心感や地域づくりの活力、さらに、地域経済の潤い等をもたらし、「ありたいまちの姿」の実現につながるとともに、人と人のつながりをさらに強固にします。その結果、朝来市に暮らす市民一人一人が、自己実現と成長、人や社会とのつながりを感じ、幸せを実感することにつながります。その幸せが次なるまちの動きをつくり、新たな幸せを創出する幸せの循環を生み出し、「将来像」の実現につながります。

また、そのことが、朝来市に住み続けたい、朝来市に住んでみたいと感じることにもつながり、人口減少の抑制につながります。